令和８年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立梅香小学校の結果

～分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について～

区　　名	此花区
学　校　名	大阪市立梅香小学校
学校長名	青木　孝史

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和８年４月に、６年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

１　調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

２　調査内容

(1)　教科に関する調査

・国語

・算数

(2)　質問調査

・児童に対する調査

・学校に対する調査

３　調査の対象

・国・公・私立学校の小学校第６学年の原則として全児童

・大阪市立梅香小学校では、第６学年　36名

令和８年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立梅香小学校の結果概要

令和8年度全国学力・学習状況調査における本校の平均正答率は、国語が51%、算数が49%であり、いずれも全国平均及び大阪市平均を下回る結果となった。国語では「話すこと・聞くこと」において大阪市平均を上回った一方、「言葉の特徴や使い方に関する事項」や「読むこと」に課題が見られた。算数では、特に「変化と関係」の領域において全国平均との差が大きく見られた。
児童質問調査では、将来の夢や目標を明確に持っている児童や、いじめを許さないという意識を強く持っている児童の割合が全国平均を上回った。一方、家庭学習や読書に費やす時間が短い傾向が見られ、スマートフォン等の長時間利用や基本的な生活習慣についても課題が明らかとなった。これらの結果を踏まえ、児童のよさを生かしながら、基礎学力の定着と学習習慣の確立に向けた取組を進めていく必要がある。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】
全体として全国・大阪市平均を下回る結果であったが、「A 話すこと・聞くこと」では大阪市平均を0.8ポイント上回り、一定の成果が見られた。また、文章全体の構成や展開を考える設問では全国平均を6.0ポイント上回るなど、比較的良好な結果も見られた。一方で、「言葉の特徴や使い方に関する事項」は全国平均を15.4ポイント下回り、特に漢字を正しく使う力に課題が見られた。また、「C 読むこと」も全国平均との差が14.5ポイントと大きく、語彙力の定着や文章の内容を正確に読み取り、理解する力を高めることが今後の課題である。
【算数】
全体として全国・大阪市平均を下回る結果であったが、「B 図形」や「D データの活用」は、他の領域と比較して全国平均との差が小さかった。また、立方体の体積を求める設問では全国平均を7.9ポイント上回るなど、一部の基礎的な知識・技能については定着が見られた。一方で、「C 変化と関係」は全国平均を12.4ポイント下回り、数量の関係を捉えて考える力に課題が見られた。また、「A 数と計算」においても、分数の意味や大きさの理解に課題が見られ、基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るとともに、それらを活用して考える力を育成することが今後の課題である。

質問調査より

児童の意識面では、「いじめはどんな理由があってもいけない」と強く回答した児童の割合が92.5%で、全国平均を11.4ポイント上回り、いじめを許さない意識が強く育っていることがうかがえる。また、「将来の夢や目標がある」と強く回答した児童の割合も70.0%で、全国平均を11.4ポイント上回っており、将来の夢や目標を明確に持っている児童が多いことがうかがえる。
一方、生活習慣や家庭学習については課題が見られた。平日にスマートフォン等でSNSや動画視聴、ゲームなどに4時間以上費やす児童の割合は50.0%で、全国平均を28.1ポイント上回った。また、平日に授業以外で1時間以上勉強する児童の割合は40.0%で、全国平均を9.9ポイント下回った。さらに、平日に読書を全くしない児童の割合は37.5%で、全国平均を11.2ポイント上回っており、家庭での学習習慣や読書習慣の定着が課題である。

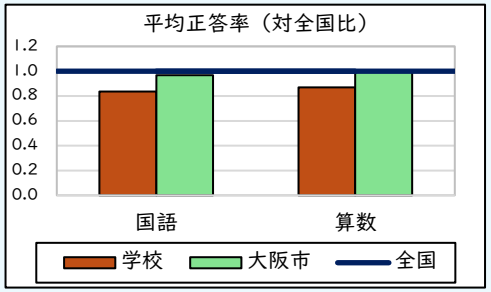
今後の取組（アクションプラン）

本校では、全国学力・学習状況調査及び児童質問調査の結果を踏まえ、基礎的・基本的な学力の定着と、学んだことを活用して考える力の育成を重点課題とする。国語では、漢字や語彙の定着を図るとともに、文章の内容を正確に読み取り、根拠をもって自分の考えをまとめる力を育てる。そのために、朝の学習時間を活用した反復学習や、子ども新聞・学校図書館を活用した読書活動を充実させる。算数では、数の意味や計算の仕組みなどの基礎的な理解を深めるとともに、数量の関係を捉えて考える力を育てる。今年度の校内研究である算数科の授業研究を通して、図や表、式などを用いて自分の考えを説明したり、友だちと考えを交流したりする学習活動を充実させる。また、一人一台端末やデジタルドリルを活用し、児童一人ひとりの理解度に応じた学習を進める。
さらに、学力向上支援チーム事業やブロック化による学校支援事業を継続して活用し、専門講師の指導・助言を受けながら、教員の指導力向上と授業改善を進める。家庭学習については、家庭と連携しながら学習習慣の定着を図るとともに、スマートフォン等の適切な利用についても啓発を進める。これらの取組を通して、児童が「分かる」「できる」と実感できる授業づくりを進め、基礎学力と思考力・表現力の向上を目指す。また、児童の学習状況を継続的に把握し、指導方法の改善を重ねながら、全国・大阪市平均との差を縮めていく。

令和８年度　全国学力・学習状況調査　教科に関する調査結果の概要

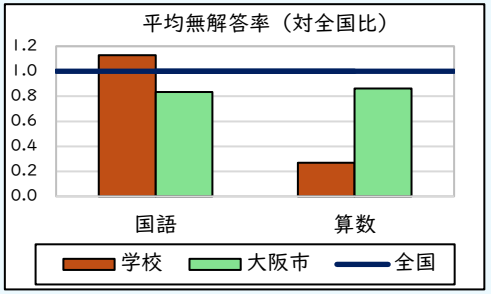
平均正答率（%）

	国語	算数
学校	51	49
大阪市	59	56
全国	60.9	56.4



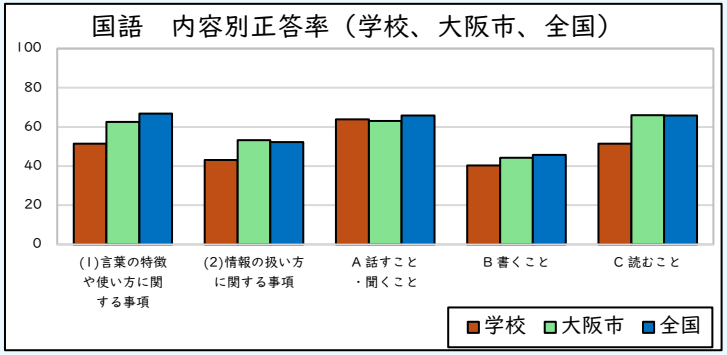
平均無解答率（%）

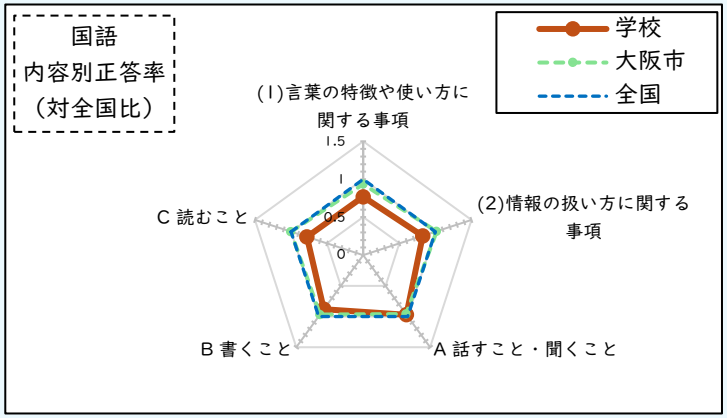
	国語	算数
学校	3.8	0.9
大阪市	2.8	2.8
全国	3.4	3.2



【国語】内容別正答率

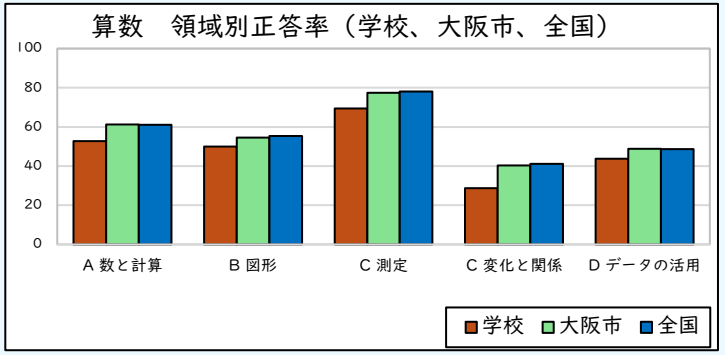
学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（%） 学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	4	51.4	62.5	66.8
(2)情報の扱い方に関する事項	2	43.1	53.2	52.3
(3)我が国の言語文化に関する事項	0	－	－	－
A 話すこと・聞くこと	3	63.9	63.1	65.8
B 書くこと	2	40.3	44.2	45.7
C 読むこと	2	51.4	66.0	65.9

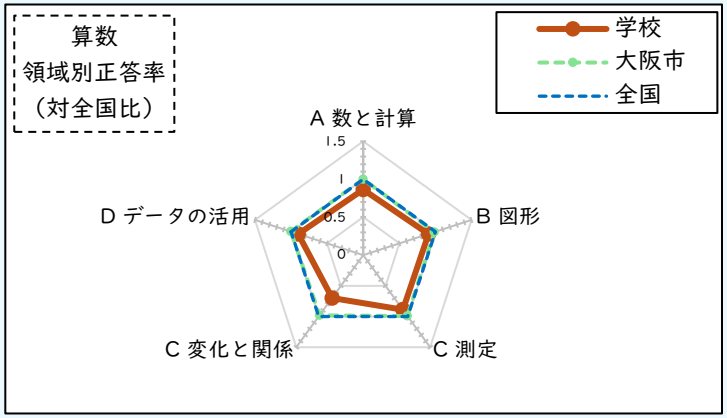




【算数】領域別正答率

学習指導要領の領域	対象問題数（問）	平均正答率（%） 学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	52.8	61.2	61.1
B 図形	4	50.0	54.5	55.3
C 測定	1	69.4	77.5	78.1
C 変化と関係	3	28.7	40.3	41.1
D データの活用	4	43.8	48.8	48.6

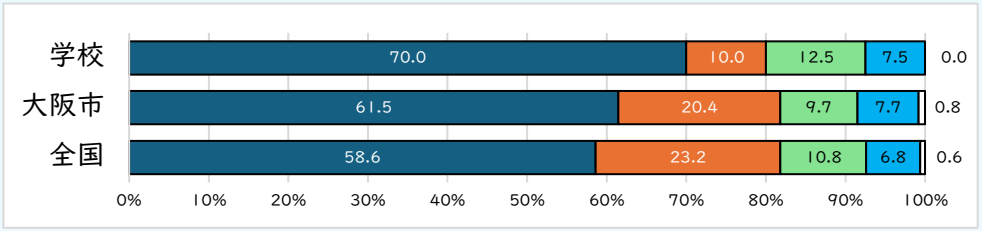




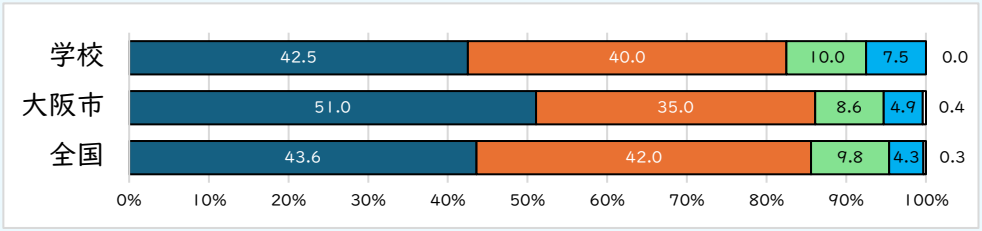
令和８年度　全国学力・学習状況調査　児童質問調査より（１）

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

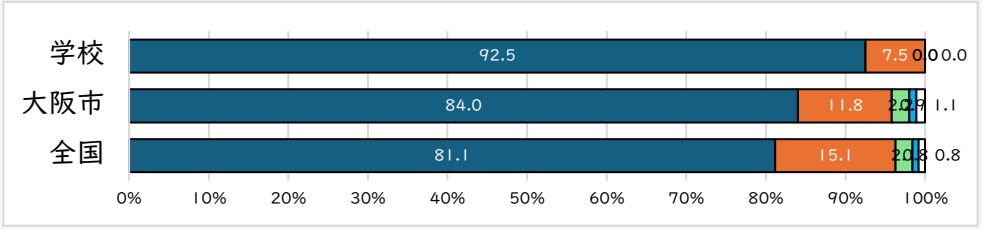
質問番号	質問事項
（１０）	将来の夢や目標を持っていますか
（８）	自分には、よいところがあると思いますか
（１２）	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか
（７）	学校での悩みについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか
（１）	朝食を毎日食べていますか



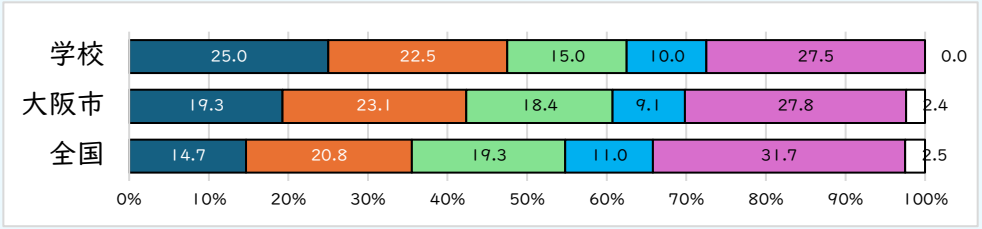
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない



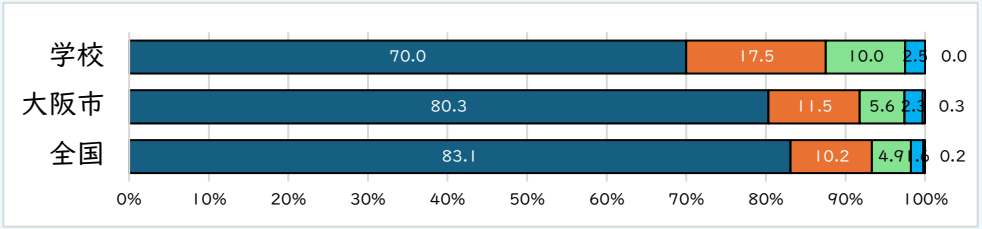
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない



1 ほぼ毎日
2 週に１～２回
3 月に１～２回
4 年に１～２回
5 ほとんど、または、全くない

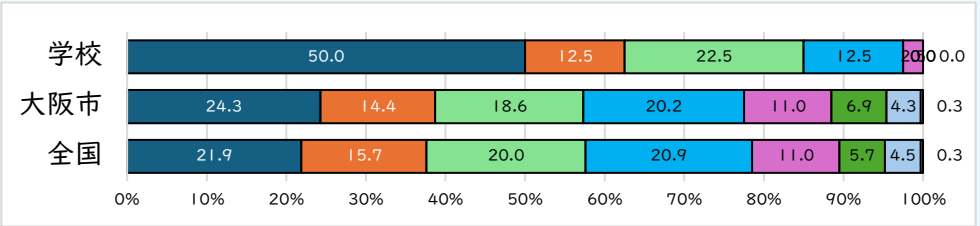


1 している
2 どちらかといえば、している
3 あまりしていない
4 全くしていない

令和８年度　全国学力・学習状況調査　児童質問調査より（２）

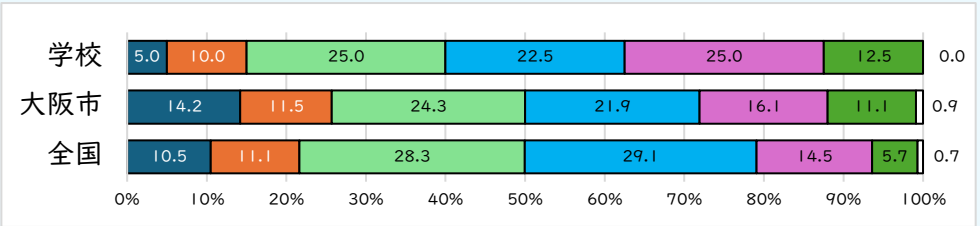
※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

質問番号	質問事項
（４）	普段（月曜日から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等（以下、「スマートフォン等」）でSNSや動画視聴などをしますか（スマートフォン等を使って学習する時間やゲームをする時間は除く）



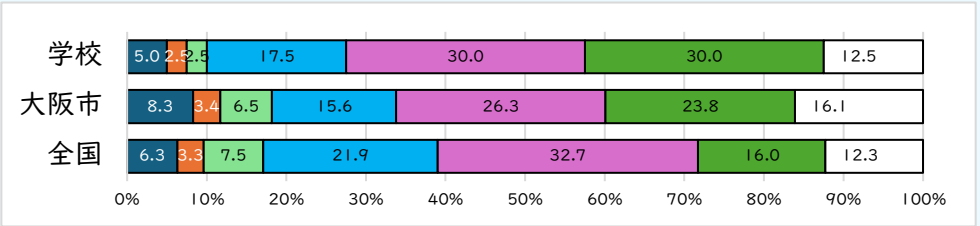
１ ４時間以上
２ ３時間以上、４時間より少ない
３ ２時間以上、３時間より少ない
４ １時間以上、２時間より少ない
５ ３０分以上、１時間より少ない
６ ３０分より少ない
７ スマートフォン等を持っていない

（２３）	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）



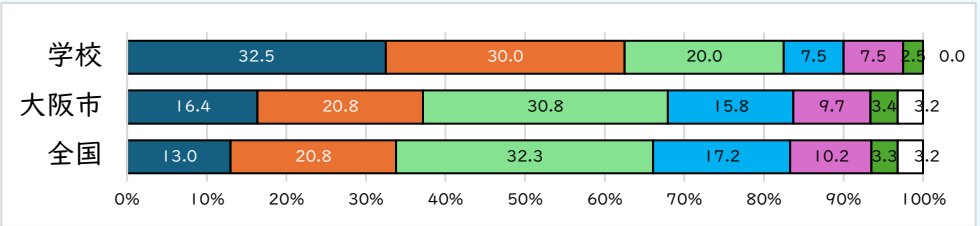
１ ３時間以上
２ ２時間以上、３時間より少ない
３ １時間以上、２時間より少ない
４ ３０分以上、１時間より少ない
５ ３０分より少ない
６ 全くしない

（２５）	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、１日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）



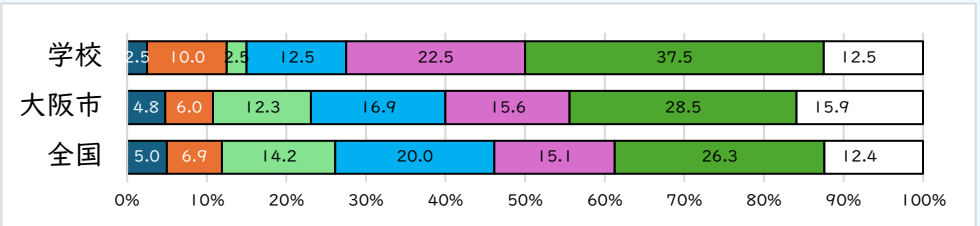
１ ４時間以上
２ ３時間以上、４時間より少ない
３ ２時間以上、３時間より少ない
４ １時間以上、２時間より少ない
５ １時間より少ない
６ 全くしない

（２９）	あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか（雑誌、新聞、教科書は除く）



１ ０～１０冊
２ １１～２５冊
３ ２６～１００冊
４ １０１～２００冊
５ ２０１～５００冊
６ ５０１冊以上

（２６）	学校の授業時間以外に、普段、１日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）



１ ２時間以上
２ １時間以上、２時間より少ない
３ ３０分以上、１時間より少ない
４ １０分以上、３０分より少ない
５ １０分より少ない
６ 全くしない

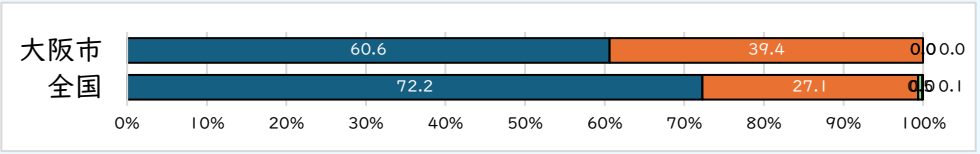
令和８年度全国学力・学習状況調査　学校質問調査より

1 2 3 4 5 6 7 □その他・無回答

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

質問番号	質問事項
（21）	教職員が困っているとき、管理職と教職員との間で随時相談できるなど組織的に対応する体制を構築していますか

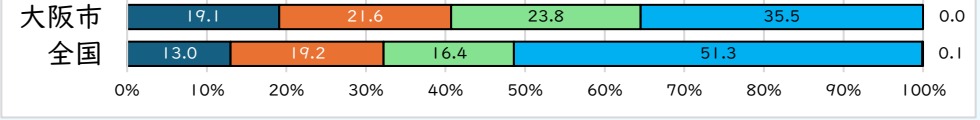
【学校の回答】　1　そう思う



1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

（22）	特定の教員が学級担任を務めるのではなく、複数の教員が共同で学級担任を務める体制（いわゆる、チーム担任制、グループ担任制）を実施していますか

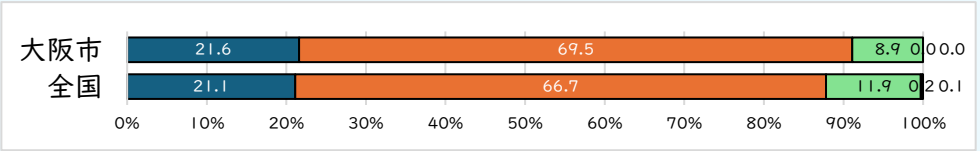
【学校の回答】　4　実施していない



1 全学年で実施している
2 一部の学年で実施している
3 実施に向けて検討している
4 実施していない

（28）	調査対象学年の児童は、学級やグループでの話合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか

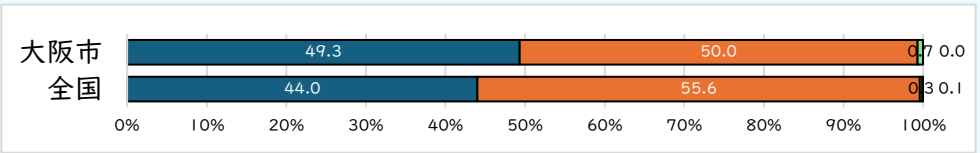
【学校の回答】　3　どちらかといえば、そう思わない



1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

（16）	ICTを活用した校務の効率化（事務の軽減）の優良事例を十分に取り入れていますか

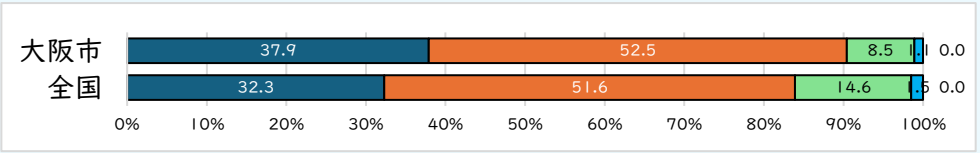
【学校の回答】　2　一部取り入れている



1 十分に取り入れている
2 一部取り入れている
3 全く取り入れていない

（8）	調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

【学校の回答】　1　そう思う



1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない